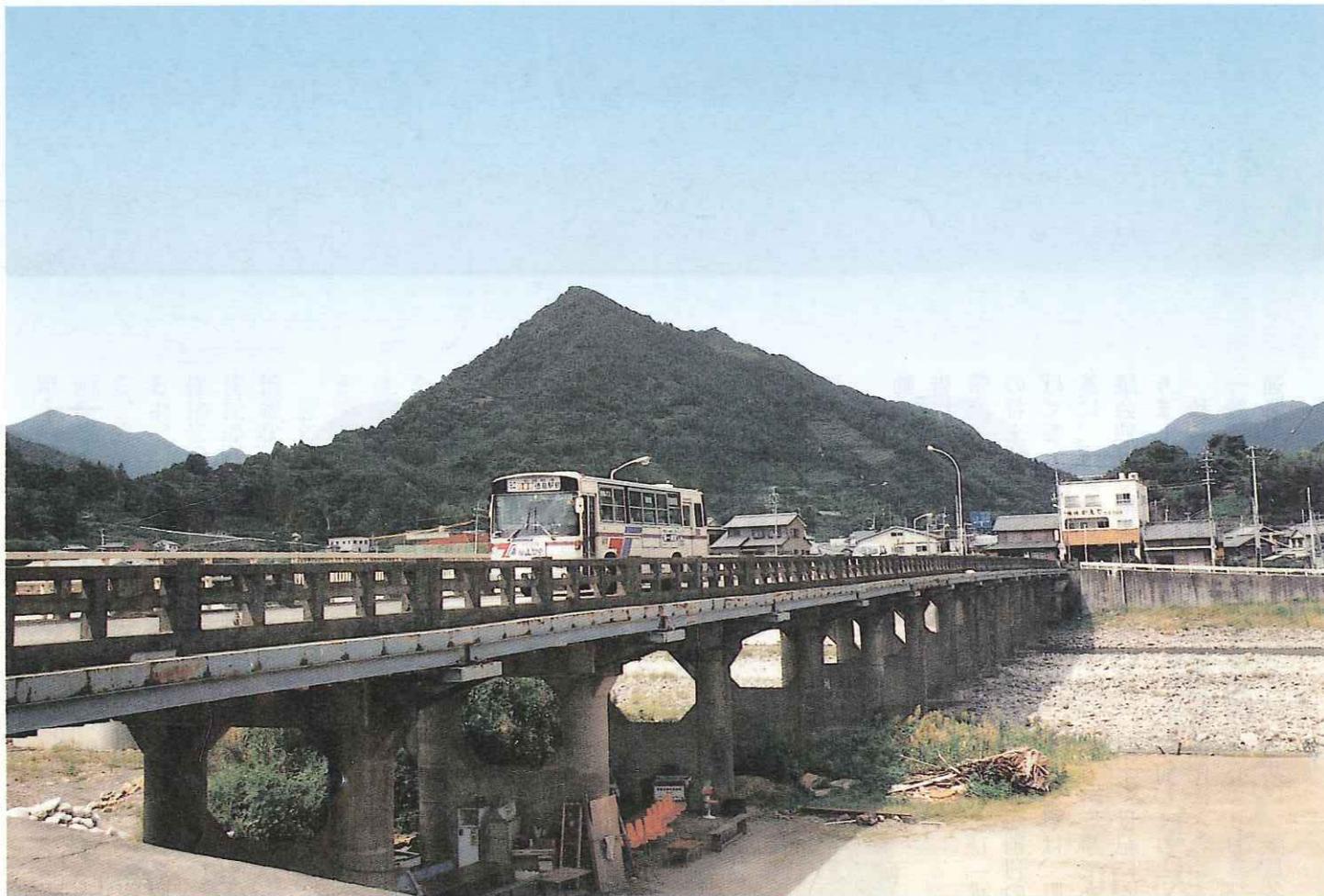


議会だより

かつうら

創刊号
1997.11.15

いきいきとした 町づくりを めざして



68年間親しまれてきた勝浦のシンボル横瀬橋

(谷田 弘一 氏撮影)

- 議場全景 議長・町長あいさつ 期待の言葉…P 2・3
- 9月議会及び臨時議会で決まったこと……………P 4・5
- 一般質問に12人登壇……………P 6～17
- 議会の構成……………P 18
- 委員会視察報告……………P 19
- 編集委員会委員長あいさつ 議会のうごき……P 20

声を反映する町づくりをめざします。



「議会だよりかつうら」

創刊にあたって

勝浦町議会議長 押栗義雄



地方自治体を取りまく環境は日毎に厳しさを増し、とりわけ地方分権への国の動きが高まる中で、勝浦町の現状認識を的確に把握し、町の独自性を生かした施策が要求される今日、町の議決機関として私共議会の使命が、一段と重要さを増して参りました。

この様な時期に当り議会活動の実状を、定例会毎にご報告申し上げ、議会と町民の連帯意識を養いながら、勝浦町の将来的発想や、展望につなげて参りたいとの強い期待を基に、議員全員の賛同の上、議会独自で編集、発行にいたしました。

私共議員一同、定例会毎の一般質問や各委員会活動等を通じて、地域住民の負託にお

を頂きながら、議会と町民の皆さんとを結ぶ、より開かれた議会広報としての使命が果たせまますよう、お願いいたしております。

最後になりましたが編集委員各位の活発な編集活動を得て、待望の創刊の運びとなりました。

各位のご労苦とご尽力に対し感謝申し上げます、創刊のごあいさつといたします。

発刊を祝して

区長会会長 細川 寛



すしだいでございます。

勝浦町も今後、少子化と高齢化、そのほか幾多の難問題が山積であろうかと存じます。議会は地方公共団体としての意思を決定する、議決権を有する重要な機関であり、その議会活動を正確、迅速に報道される事により、住民に対しひらかれた議会となりますよう、大いに期待申し上げます、発刊にあたりお祝いの言葉といたします。

このたび「議会だよりかつうら」が創刊のはこびとなりました事は、町民にとって大変有益な事であり、勝浦町の二十一世紀に向かって活力ある町づくりと、議会活動の活性化にきわめて意義深いものと心よりお喜び申し上げますと共に、議員各位に敬意を表

さまざまな課題に取り組み町民の生きた



「議会だよりかつうら」 発行にあたって

勝浦町長 川口 幸一



指して進めているところであり
ります。

議会は、本町の意思決定機
関であり、その議会活動を正
確迅速に報道されることによ
り、住民とのコミュニケーション

ンをより高めるものと大いに
期待するものであります。

従来は、広報かつうらを通
して住民の皆様様に議会の活動
状況等のお知らせをしてまい
りましたが、この度の創刊号
の発行を契機に、なお一層住
民から愛される議会議員とし
て又、行政の監視役としてご
活躍されますようお願い申し
上げまして、発行にあたり、
お祝いのことばといたします。

この度、「議会だよりかつう

ら」が創刊されますことは、
二十一世紀の到来を間近に控
え、「住んでよく、訪れてよい
まち」阿波勝浦「づくりや議
会活動の活性化に向けて、誠
に意義深いものと心からお喜
びを申し上げます。

勝浦町は、昭和三十年三月
一日に町村合併促進法の適用
を受け、横瀬町と生比奈村が
合併して以来四十二年の歳月
が流れました。

近年は、高齢化、少子化、
情報化が急速に進行しており、
住民の行政需用も年々複雑多
様化し、住民ニーズの増大す
る中、本町は、平成六年度か
ら、勝浦町新総合振興後期計
画を策定して、新世紀の勝浦
町を創造するまちづくりを目

勝浦町議会広報

発行を祝して

女性会会長 坪内奈津子



があり、学級生には毎回好評
です。今年も九月議会を傍聴、
押栗議長の力強い開会の言葉
で議事となり、緊張した空
気の中で、愛する町づくりの為
に議員と理事者の熱心な質問、
答弁がありました。

私たち町民の代表である議
員の方々の御健康を御祈念申
し上げ、勝浦町の益々の発展
にお力を尽くされます様、お
願い申し上げます。

勝浦町議会広報が発行され
ますことに、心からお祝いを
申し上げます。そして今まで
よりも議会活動が、一層身近
になることを大変嬉しく思っ
ております。

女性学級の講座に議会傍聴

平成9年 9月定例議会

一般質問には12議員が論戦を展開!!

中山、横瀬簡易水道組合に1,700万円補助

九月議会で決まったこと

- 九月定例議会は九月九日から九月二十二日まで十四日間の会期で開かれました。
- 一般会計補正予算のほか人事案件など十三の議案を慎重に審議し、可決しました。
- 一般質問には、十二議員が登壇し、論戦が展開されました。

議案第1号 平成八年度各会計歳入歳出決算の認定（総務常任委員会に付託）

議案第1号 無線中継所の設置及び管理に関する条例（携帯電話用に坂本山頂に設置されたNTT中継基地）

議案第2号 勝浦町営住宅設置及び管理条例の全部を改正する条例（第一種、第二種住宅の区分がなくなり、家賃が収入によって変わることになります）

議案第3号 勝浦町住宅新築資金等貸付条例を廃止する条例

議案第4号 平成九年度勝浦町一般会計補正予算（第二号）（六千六百三十九万六千円を追加。総額を四十七億一千三百六十八万三千円に）

議案第5号 平成九年度勝浦町国民健康保険特別会計補正予算（二千五百十九万六千円を追加。総額六億九千八百三十九万八千円に）

議案第6号 平成九年度勝浦町簡易水道事業特別会計補正予算（一千七百八十二万円を追加。中横水道の水槽補助金）

議案第7号 勝浦町道路線の認定（今山谷川西堤防線・今山谷川東堤防線の二線）

受理番号第3号 畜産公害に関する陳情（産業建設常任委員会に付託）



▲ 老朽化した中山、横瀬水道の水槽

・ 議会選出監査委員に

原田昭三氏（中角）

神原忍氏の任期満了に伴う後任の選任同意

・ 固定資産評価委員に

幸山善巳氏（棚野）

村上伊三郎氏の任期満了に伴う後任の選任同意

第4次急傾斜地崩壊対策事業5ヵ年計画の策定に関する意見書

急傾斜地崩壊対策事業は、がけ崩れ災害から国民の生命と財産を守り安全で災害のない斜面整備を行い、豊かでうおいのある地域づくりをするため最も優先的に実施すべき根幹的な事業である。

とりわけ徳島県はその全域が台風常襲地帯となっており、地形的には中央構造線を始め三大構造線が縦走り、急峻な地形と脆弱な地質を併せ持った極めて災害に弱い特性を有しているにもかかわらず、急傾斜地崩壊防止施設の整備は全国平均より低い水準にある。

特に勝浦町では、徳島県の東南部に位置し四方山に囲まれており、山間部は危険箇所が多く存在し、がけ崩れの恐れは依然解消されていないのが現状であり、急傾斜地崩壊防止施設の整備が急務となっている。

ここに徳島県勝浦町議会は次の事項を実現されるよう強く要望する。

- 1 平成10年度を初年度とする第4次急傾斜地崩壊対策事業5ヵ年計画を策定するとともに、必要額を満額確保し、急傾斜地崩壊対策事業の積極的な推進を図ること。
- 2 徳島県への急傾斜地崩壊対策事業予算の重点配分により、整備水準の向上を図ること。

上記、地方自治法第99条第2項の規定により、意見書を提出する。

平成9年9月9日

勝浦町議会

提出先：内閣総理大臣 大蔵大臣 建設大臣 自治大臣 経済企画庁長官
国土庁長官 衆参両院議長 県選出国会議員

同和団体助成金に関する決議

昭和44年、同和対策事業特別措置法が制定されて以来、28年間にわたり生活環境などの格差是正や、教育・啓発の推進などかなりの成果をあげてきた。

国は、一般行政への移行という基本方針を明確に示しており、法的にも5ヵ年の暫定措置を残すのみとなっている。

同和団体助成金については、昭和48年度から、県下全町村による徳島県町村会への同和対策事業負担金として継続されてきたが、そのあり方についても、見直すべき時期である。

よって、国への地域改善対策協議会意見書における「民間運動団体に対する地方公共団体の補助金支出の適正化」の指摘を踏まえ運動団体の運営は、自主的財源によるべきであるという基本点に立ち、同和団体の助成金については、段階的に削減を図るべきであるとする。

したがって、県町村会において、団体の理解を求めながら適正な補助金支出への見直しを要請するものである。

以上、勝浦町議会の総意として決議する。

平成9年9月22日

勝浦町議会

提出先：徳島県町村会

道路整備の推進に関する意見書

道路は、地域間の交流を促進し、均衡ある国土形成を図り、社会・経済の活力の維持に不可欠であるとともに、安全で快適な生活を送る上においても欠くことのできない根幹的施設である。

しかしながら、勝浦町においては、社会・経済活動の基盤となる道路整備の状況は十分ではなく、交通渋滞の解消、交通安全の確保、震災対策等数多くの課題を抱えている。

さらに、明石海峡大橋の開通を来年春に控え、本州四国連絡道路、四国縦貫自動車道、四国横断自動車道による本格的な高速交通時代を迎えようとしているが、この効果を隅々まで波及させ、地域の活性化を促進させるためには、高速道路をはじめ、これを補完する一般国道、県道、町道、農道に至る体系的な道路網の整備が緊急の課題である。

このため道路予算の確保は、勝浦町にとって、まさに死活問題であり、極めて重要な事案である。

よって、政府においては平成10年度予算編成に際して、地域における道路整備の重要性を十分に認識され、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 揮発油税、自動車重量税等の道路特定財源制度を堅持するとともに、地方の道路整備財源についても充実強化を図ること。
- 2 平成10年度を初年度とする新たな道路設備5ヵ年計画の策定にあたっては、計画的かつ着実な道路整備推進のための十分な投資額を確保すること。
- 3 道路整備が遅れている地方に対し、予算の重点配分を行うこと。
- 4 特に、県道徳島上那賀線・県道阿南勝浦線・県道新浜勝浦線の早期整備を図ること。

上記、地方自治法第99条第2項の規定により、意見書を提出する。

平成9年9月9日

勝浦町議会

提出先：内閣総理大臣 大蔵大臣 農林水産大臣 自治大臣 経済企画庁長官 国土庁長官 衆参両院議長 県選出国会議員

勝浦町営住宅の適正管理に関する決議

勝浦町は水とみどりに恵まれた自然環境がある。

しかも、三市に隣接している。この好条件を取り入れ、活力ある町づくりの一環として、住宅施策に取り組んできたところである。

しかしながら、町営住宅の管理状況を見ると、一部に不適正と思われる入居者がある。

したがって、今後における町営住宅の管理にあたっては、住宅の明け渡し等厳正な管理に努めるよう強く求めるものである。

以上、勝浦町議会の総意として決議する。

平成9年9月22日

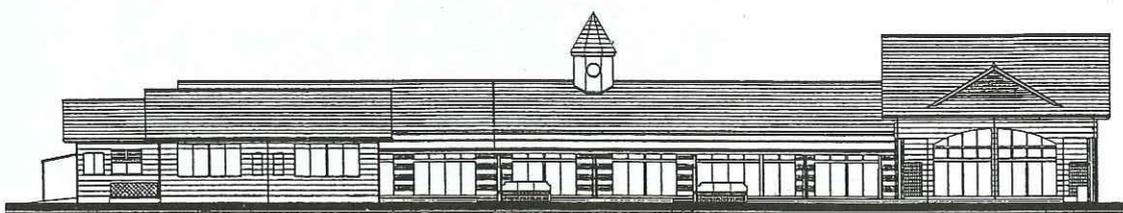
勝浦町議会

第三回臨時議会は十月七日開かれ、約一億七千万円で生比奈保育所改築につき審議。特にこの問題では、議員側から現段階で当初計画より、二カ月の遅れにつき意見続出。その原因と今後の見直しについての理事者側の対応が指摘され、来年二月末日までに工事が必ず完成することを、業者に条件提示をするとの確約のもと承認された。

第3回臨時議会

生比奈保育所

一億七千万円で改築



▲ 生比奈保育所完成予想図（南側立面図）

農業の実態と将来について

山田昌男 議員



適人でファームサービスの事業に取り組みたい。

答 川口町長 基盤整備し団地化したい。消費者ニーズに合ったみかんを作るにはどうすべきか、きめこまかい補助金を農業の町として財政の許す限り取り組みたい。

問 鳥獣の被害はみかんを始め他の果樹にも及んでいる。これ等被害を最小限に押さえるには防護さく・忌避剤等考えられるが、個々に対策するには限界があり、行政が真剣に、取り組むべきである。県の指導はどうか。

答 岡本産業課長 県の指導も受け太陽熱を利用した電気ショックなど林務課

問 鳥獣の被害はみかんを始め他の果樹にも及んでいる。これ等被害を最小限に押さえるには防護さく・忌避剤等考えられるが、個々に対策するには限界があり、行政が真剣に、取り組むべきである。県の指導はどうか。

答 岡本産業課長 県の指導も受け太陽熱を利用した電気ショックなど林務課

で研究もしている。又JAでも忌避剤も販売されている。鳥獣との調和、山づくりは広域的にも取り組みたい。

答 川口町長 植林事業が正しかったかどうか、農作物に被害が及んだのは関係がある。鳥獣が住めるような環境作りが必要である。

問 みかんの全盛時と現在の面積の比較は？ 従事者の年齢層の比率は？

答 岡本産業課長 昭和五十年一、一〇五ヘクタール。昭和六十年九一八ヘクタール。平成七年六〇八ヘクタール。従事者現在二、八九〇名。高齢者六十歳〜六十四歳三一九名、一一・〇%。六十五歳〜六十九歳 三四三名 一一・八%。七十歳〜七十四歳二五四名 八・七%。

問 川口町長も初当選以来早くも三年七カ月、以

答 川口町長 振り返れば三年七カ月一生懸命取り組んで来たと言う事は、誰にも負けないと思っております。ただ町民の為になつたかどうか私も充分反省している所であります。

問 川口町長も初当選以来早くも三年七カ月、以



▲ 鳥獣被害のあつたみかん園



▲ 手入れのゆきとどいたみかん園

町長の政治姿勢について

なお、今後も前向きな姿勢で頑張っていきたいと思えます。



問 川口町長も初当選以来早くも三年七カ月、以

答 川口町長 振り返れば三年七カ月一生懸命取り組んで来たと言う事は、誰にも負けないと思っております。ただ町民の為になつたかどうか私も充分反省している所であります。

畜産公害をなくせよ!!

原田昭三 議員



又人間教育の基礎の場として、財政には問題がありますが、是非設置したいと考えております。

問 川口町長 教育委員会サイドの意見に賛同したいと思えます。しかし、少子化や財政などの問題点があります。議員の皆さんや、町民の意見を聞き、慎重に進めていきたいと思えます。

幼稚園の設置を

ぜひ設置したい
(教育長)

問 幼児教育の重要性が叫ばれております。坂本小学校統合により坂本幼稚園はどうなるのか。各小学校に幼稚園を設置する考えはないかお伺いしたい。

答 平山教育長 幼児教育の重要性から見ても各小学校校区ごとに幼稚園がほしいという考えでございます。坂本小学校統合につきましても幼稚園も併せてなくなるといふ予定で、その受皿として

中角バイパス、 ほ場整備の推進を！

積極的に進めたい
(川口町長)

問 この事業について、予算面で困っております。町又は県において、ソフト事業で予算が出せないものか。

答 川口町長 この事業は勝浦町にかつてなかったような大事業です。中角地区だけでなく他地区の用地関係者もかなりおられるので、前向きに検討してみたい。

答 岡本産業課長 国の補助金を受けて大きな事

業を行う場合には、国が認定するまでに事前にある程度法的手続きが必要です。平成十年から受けられるよう取り組みたい。

問 この事業は一〇五戸ぐらいが関係すると思われ、町当局が積極的に取り組まなくては事業が出来ないと思われ、町当局の考えを聞きたい。

答 川口町長 町としては積極的に進めたいと言っております。担当課も会合に出席するなり推進に力を入れていきたい。



▶ 中角ほ場整備予定地区

畜産公害!! 町長の政治責任は

考えてみたい
(川口町長)

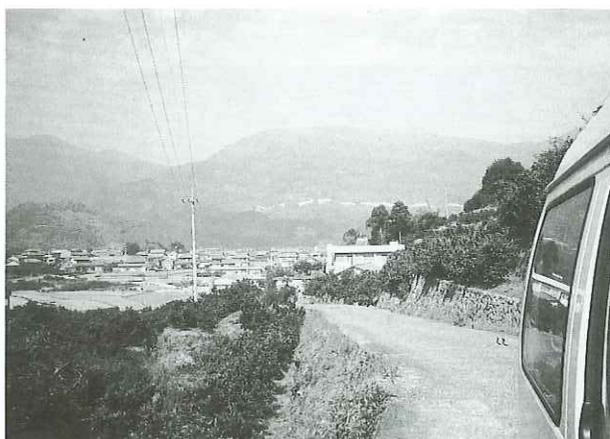
問 畜産環境システム事業の最大の目的は地域の環境を良くする事であったと思われ、現在生名地区においては畜産公害が、三月定例議会以後どうなっているか。

答 川口町長 今、生名地区から環境問題の陳情が出されておりますが、団地への入植予定者が入植しておらず大変残念に思っております。

答 岡本産業課長 まだ入植されていない方がある事はまことに残念に思っております。条例に定めた目的に向かつてまい進しなければいけないと思っております。

問 平成七年十二月、川口町長は担当職員と共に入植予定者と話し合いをした時、町長が「行かなくても代わりの人はある。人数合わせは出来る」と言う様な発言をしたと聞かされた。担当から報告を受けているか。

◀ 公害陳情の出ている生名地区



答 岡本産業課長 担当者からは、ご質問の様な町長の発言があったと聞いております。

問 町長としての発言の重みがかわかっていないのではないかと。畜産団地はばく大な費用を使っており、その効果が充分発揮できない場合、町長として結果責任、政治責任が問われると思うがどうか。

答 川口町長 私はなお今後慎重に進めていきたい。私の政治責任については、私にばく努力致しましてそのあとで考えてみたい。

勝浦町農業振興における

UR対策と将来像

森 健 議員



答 岡本産業課長 UR対策として、共同育苗施設、穀類等乾燥調整貯蔵施設、農畜産物集出荷施設、処理加工施設、堆肥製造施設等と農道等を複合的に組み合わせたものがみとめられ、大平谷の花団地と農道が最近の例である。将来的には中角地区でのほ場整備と県道バイパスなどを進めるよう取り組む。

出来ること、投下資本とそれに見合う利益等々、要するに泥臭さを感じさせないニューアグリカルチャー的イメージを持った「生産体」が必要であり、将来の勝浦農業を支える若者のためには、公務員に準ずる位の条件を満たしうる必要がある。そのための資金の無利子化、就農者に対する支援等、行政の出番があると思うが、町長は、どのように考えているか。

答 川口町長 UR対策は、今世紀最後で最大の対策と認識している。将来に向かっては若者に魅力のあるような、水耕栽培や施設栽培など、若者の息吹きを行政が先頭にたって考えていかなければならない時期に来ていると思っている。やる気のある人には、財政の許す限りの支援は惜しまない、同時に高齢者にも働き場もあたえられる施策も必要である。将来の夢として勝浦高校とも連携をとりながら養液栽培等大きな国の補助事業に乗せ町民の参加できるものをつくってみたい。

県道阿南勝浦線沼江バイパス第二期工事

問 現状と今後の見通しについて説明願いたい。

答 松浦参事 七月三十日地元関係者との会合、県担当者からの説明によると、現道の南側の地質調査（ボーリング弾性波）を行い、工法を決定するよう準備中である。年内には、地質調査の発注をしたい。来年度には道の設計にかかっていきたいとの県の説明である。

問

UR農業合意が、農業農村におよぼす影響を極力緩和し、地域の基幹産業として次世代に受け継いで行けることを、ねらいとしてとられた対策であり、総額六兆百億円、平成十二年をめどとして重点的に取り組むなど、農家や農業関係者の不安や不満に対する期待を持たせた施策と思われるが、勝浦町としては、どのような取り組みをしているか。また、本町の立地条件下での対策を生かしての将来像をどのように描き発展達成させようとしているのか。

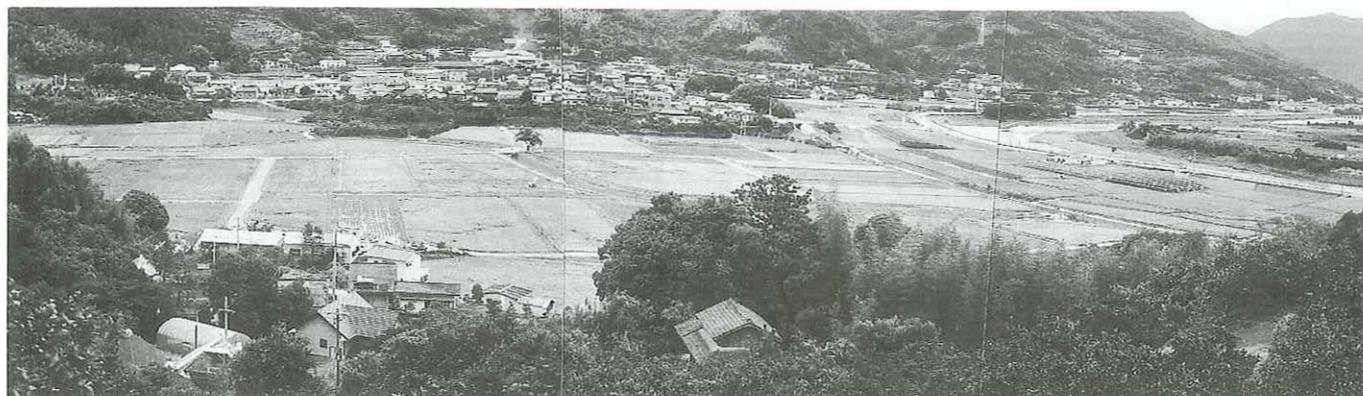
問

勝浦町農業の将来像について、一つの提案を申し上げつつ町長の考えを問う。

架橋新時代と近畿圏の一員、中山間、少子高齢化等をふまえての将来像として若者が取り組んでみようと興味の持てる新しい型のもの、高齢者が作業者として参加できること、インターン、Uターン等新規就農者を受け入れること、計画生産、計画出荷がある程度



▲ 与川内大平谷の花団地と農道



▼ 石原沼江区画整備事業

一般質問

携帯電話アンテナ生名山頂設置

福徳重二 議員



か。積極的な方法をお伺いしたい。

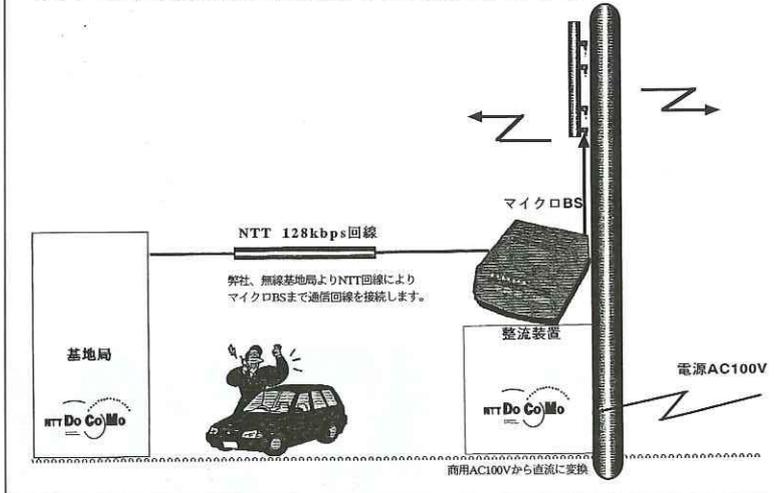
答 川口町長 NTTドコモ本社（高松）設備部長、徳島ドコモ支店技術部長に來町して頂き、交渉を重ねた結果、NTTドコモの経費で坂本山頂に建設したアンテナと同規模のものを、生名山頂に平成十年十二月までに設

置をして、勝浦はもちろん加茂谷、長柱、沖野地域までのサービスエリアの拡大をいたします。
又、それまでの間、簡易型アンテナ、開発第一号機（半径3km）を、JA生比奈支所屋上に平成九年十二月までに仮設置（交渉中）をして、平成十年一月にはサービスの開始をし、エリア外地域の苦情の解消を図ることをNTTドコモと約束をいたしております。

問 一億円余の経費（国が三分の二、NTTドコモが三分の一）で坂本山頂に携帯電話中継基地アンテナを設置して、サービスの提供を本年五月から開始した。

しかしながら、サービスの提供がほとんど受けられない旧生比奈地区住民の声として、ほとんどの経費は国であるといっても、住民の税金に変わりはない。住民の税金を使用するのであれば、町全域にわたって平等にサービスの提供をしなければならぬと思う。町長は、今後において、住民の不満の声を解消するため、どのような方法をとられるの

JA生比奈支所屋上に設置する簡易型アンテナ



スクールのゾーンの 新設を

問 県道徳島上那賀線

生比奈小学校サイドでの交通事故の多いことは町長、教育長ご承知のとおり。現場付近は道路幅は狭あいであり、カーブしている現状からして事故へとつながっている。道路を拡幅してカ



希望するスクールゾーン

ーブをなくすのが得策とは思いますが、急いで出来る訳はない。そこで、子供たちを交通事故にあわさないためにも、県

答 平山教育長 子供の命を守る面からして理解を示したい。道路標識、道路標示は地域のみなさんの理解が必要であり学校、PTAとよく相談をしながら、町の安全対策会議、県の交通安全対策会議に前向きに働きかけをしていきたい。

焼却施設からの ダイオキシンは

問 本年十二月から法改正によって焼却施設からのダイオキシン類の排出規制が厳しくなったが、本町施設はどのような状況であるか。

答 国清環境衛生課長 平成九年四月二十三日煙突中間点で八百度で六十分、四時間測定した結果、ダイオキシン類濃度はすべて基準値内である。

今後は測定間隔も一年でなく検討する必要があると思う。

子育てしやすい町に！

神原 忍 議員



中学生の短期 外国研修について

問 中山の町政懇談会（町長を囲んで）で、過疎対策の一つとして「子育てのしやすい町にして」と女性からご意見が出された。

子育てや教育に関連する北海道栗沢町長のお話だが、人口八千五百人ほどのこの町では、工場誘致も盛んだが教育にも熱心で、中学生をアメリカの姉妹都市に送り、交流研修を町費でさせている。優秀な子三十人に三カ月間英語と郷土史を十分に教え、

終了時にレポートを出してもらい、二人を選抜する。その二人はホームステイで十日間の交換、研修をし、アメリカから帰ると方々でひっぱりだこの報告会、二人は自信をつけ、一皮むけたようにしっかりしてきて、人気者になる。

その制度が始まってから、憧れの目標ができ、中学生だけでなく、小学生まで勉強力が入るようになった。この栗沢町長のお話を思い出して、アメリカ農業を一年間現地で勉強された役場の西野勝浦会館長等におたずねすると、もうすでに個人的には行っているとの事。

勝中生の佐藤光さんは去年の夏、アメリカでホームステ



▲ 乳しほりを習う佐藤光さん



▲ お料理も大切な交流と研修のひとつ

イをし、友達が大勢できたと言っていたし、良い色々な経験を積み視野も広がっただし、英語もできる。

今ではお父さんと一緒にインターネットで外国との情報交換に大変熱心な様だ！とのお話だった。

勝浦町の将来の為にこんな研修方法を制度化してはどうか、西野館長からも一言。

答 西野勝浦会館長 外国の文化や習慣、マナーや宗教の違い等、見聞するのは良い。それも若い時ほど。

答 平山教育長 もうすでに国際的な協力なくしては、一国だけの繁栄はない時代。世界各国との交流が出来るよう、そんな教育の制度にも力を入れたい。

答 川口町長 趣旨には賛成、しかし姉妹都市の問題、交換による受け入れ態

勢等々、これから一つ一つ検討してゆく。

町の宅地造成 事業について

問 過疎対策の分譲宅地の造成計画はどうなっているか。眺めの良い、理想的な宅地群をつくって欲しいと思うが。

答 秋本企画開発課長 今までわが町には住宅地に関する計画がなかった。昨年、建設省の出した住宅マスタープランに手を上げ本年採択された。現在コンサルタントに安全、利便、経済性等々検討してもらっている。



▲ 鷺敷町の分譲地

▼ ハイテク管理の施設見学



施設園芸を 特励しては？

風光を楽しめる立派な団地を数カ所につくりたい。町内全戸にアンケート調査もお願いしたいと思っている。

問 ハイテク管理のハウス園芸をもっとすすめてはどうか。

答 岡本産業課長 J A が取り組むとか、熱心な生産組合等が出来れば援助のお手伝いをしたい。

答 川口町長 将来は必ず取り組むべき農業形態。しかし危険は避け、立地条件、人的条件を整えてゆきたい。

環境の整備をどうするのか

宮本久治 議員



事だったが、何戸なら対象になるのか。

答 川口町長 三戸以上あればよい。

問 畜産団地は、フル稼働か？

答 岡本産業課長 現在の入植者は四戸で、六百五十頭分の畜舎が建築されているが、百頭分の牛舎が空いている。満杯になるよう努力する。

早急に畜産公害の解消を！

問 立川に大規模な畜産団地を折角つくったのに、地区によってはまだ公害が残っている。しかも陳情書が出る程ひどい。いつ解消させるのか。

答 川口町長 陳情書の件、公害がまだ解決していないが、解消に向けて一生懸命努力する。

問 畜産団地への入植者は、当初五戸なければ補助事業の対象にならないと言う

明石大橋の開通を控え、本町の対応策を問う

問 本町の、道路網の整備は？

答 川口町長 徳島―上那賀線の二車線化に努力している。用地の交渉が難しい。それさえできれば実現するはず。

答 松浦参事 四国横断自動車道の開通にむけて、インターと結ぶ県道、徳島―上那賀・阿南―勝浦線の整備に力を入れない。

又生鮮野菜の供給基地の徳島県の勝浦町だから、農業振

興のため広域農道、農免道路の早期完成も計ってゆきたい。

答 桂木建設課長 町道の改良には、交付金による改良、辺地対策によるもの、又町単独事業の改良等があるが、今年からは電源立地による町道改良も加わったので、計画にそって実施したい。

問 秋本企画開発課長 地生活基盤を守ることになる。徳島―上那賀線の早期二車線化に努力したい。

答 秋本企画開発課長 地生活基盤を守ることになる。徳島―上那賀線の早期二車線化に努力したい。

農業振興策について

問 農業振興策について問う。

答 川口町長 三市に隣接した本町は販売に有利な町、果樹と併せて、施設園芸にも取り組む。

答 岡本産業課長 出荷する農産物の品質が向上するよう我々も努力し、農家の所得向上を図りたい。

商工業の活性化、指導育成について

問 明石大橋がかかれば、大型店が勝浦町に進出してくる心配はないか。

答 川口町長 大型店の入ってくる余地のないくらい、地元商工業が活気づく様、指導育成したい。又農家所得の向上も図り、購買力向上に努める。

答 秋本企画開発課長 今新しい企業誘致は望めない。現在の町内の各産業を活性化させ、購買、販売力を高めてゆきたい。

問 観光対策を問う

答 秋本企画開発課長 今ある文化的資源、既存の施設を生かしながら、種々のコースを設定する必要がある。

答 川口町長 みかん狩り、いちご狩り等に一層力を入れ、又パラグライダー基地が完成すれば愛好者に、恐竜とも併せて全国的にPRしてゆく。

答 町内での宿泊設備の建設も検討しながら、勝浦川、鶴林寺を中心とした観光開発も模索したい。

答 秋本企画開発課長 今ある文化的資源、既存の施設を生かしながら、種々のコースを設定する必要がある。

答 秋本企画開発課長 今ある文化的資源、既存の施設を生かしながら、種々のコースを設定する必要がある。



▲ 婆羅尾基地を飛びたったパラグライダー

防災対策について

森 敏治 議員



立川山林火災後相互応援協定の取り組みの状況について。

答 上勝町、佐那河内村とは協定済み、未協定町村については前向きに検討する。

問 立川山林火災、台風時等連日、連夜の出勤、待機の特別手当への支給を。

答 伝統的な消防精神により、

今日の消防がある。特別な場合は何らかの対応をしたい。

問 地域防災無線の整備が急務であると思うが。

答 整備計画を作成、早期に実現したい。

問 化学消防車を導入する考えは。

答 化学消防車は広域消防体制で検討する。現時点では泡消火器で対応する。



▲ 87年たち古びて危険な坂本トンネル

坂小統合後の課題について

課 題 に つ い て

問 通学バス問題にどう取り組むか。

答 園児、児童、生徒の送迎バスは、無料とする。

問 幼稚園問題と本町の子育て環境のありかたを問う。

答 教育委員会では、幼稚園は必要との結論も出ているが、事務的問題も残っている。保護者の意見も聞き、

住民の理解が得られるよう、町として前向きに進めたい。

問 文教施設検討委員会の今後の進め方と跡地利用についての町長の見解を問う。

答 勝浦町全体の問題であり、先進地視察を行うなかで、住民の英知を結集し、誠心誠意取り組みたい。

要望 跡地の利活用に対し、町及び議員各位の1層のご理解を求め私の質問を終わります。



▲ 今後の利活用が検討されている坂本小学校

新総合振興計画は

時代に合った見直しを

溝田義昭議員



時代に合わなくなったものや
実現不可能なものもある様に
見受けられる。

例えば坂本小学校の問題等
は全然計画に入っていないし、
町の人口にしても平成十二年
には八千人、将来は一人を
目指す計画だが、徳島県にお
いても人口

の増加は見
込めないと、
県の計画を
見直した経
過もある。

計画と夢と
は違うと思
う、時代に
合った計画
に見直すべ
きだと思っ
た、どのよ
うに考える
か。

答 川口町長

この振興計
画を根本的
に見直す考
えはないが、
御指摘の通

り時代の変化が激しいので、
時代に合わせ追加が必要なも
のは追加し、削除すべきは削
除する等部分的見直しをしつ
つ平成十二年までこの計画で
やって行きたい。



▲ 町にさわやかな活気をもたらしている医療福祉専門学校

農業集落排水 事業について

問 横瀬地区の
集落排水事

業はほぼ完成した
が、平成九年度末
五十%、平成十年
度末八十%の使用
計画と聞いている。
現在の使用状況は
どうなっているの
か、又使用してい
ない人たちの考え
をつかんでおられ
るのか。

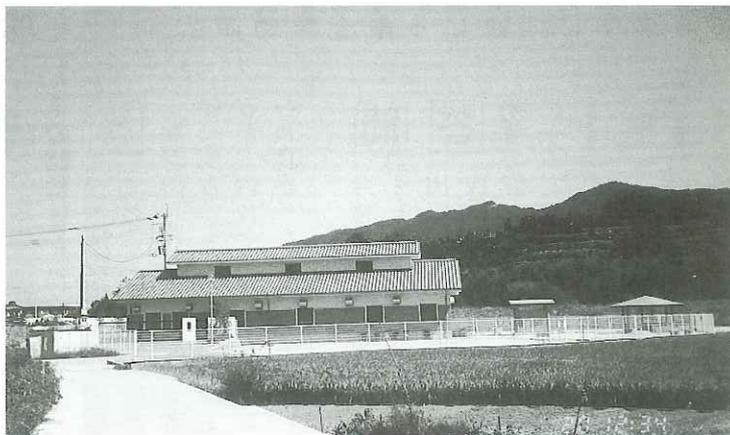
答 国清環境衛
生課長 九

月現在の使用者は
工事中を含めて、一〇六戸進
捗率では三十八・四%である。
現在使用していない人の考
えとしては、(一)宅内配管等の
工事が思ったより高い。(二)
大幅な改造が必要なので新築、
改築の時に使用開始したい。
(三)使用料が高すぎる等である
と聞いている。

問 工事が思ったより高
いと言うのは説明会の

時の説明が充分でなかったと
思う。これは町に責任のある
ことだ。今後管理費の不足分
を町費で補うのであれば、そ

▼ 横瀬地区に完成した農業集落排水汚水処理場と前川交流広場



れを利子補給に回して無利子
で借り入れ出来るようにし使
用率を上げることが得策と思
うがどうか。

答 川口町長 説明不足に
ついては、地区の役員

の方、又職員も懸命に理解を
求めながら使用率を上げてい
るところである。一日も早く
八十一・四%の加入に持って
行きたいと考えているので協
力をお願いしたい。利子補給
については今の所考えていな
いが、聞きとり調査をした上
でどうすべきか検討したい。

語学教育の在り方について

国清 栄議員



そこで会話の重要性の中で、外国人教師の勝浦での勤務状況をお聞きしたい。

答 倉橋教育委員会事務局 長 勝浦中学校においては週五回、各小学校では月二回。横瀬、生比奈では六年生、坂本では四、五、六年生と幼稚園でもおこなっている。社会教育関連では毎週一回実施している。

問 幼稚園については大変良いと思う。坂本小を

除くと六年生だけということだが、特に語学教育は低年齢程成果が上がりに重要だと思う。そこで小学校では一年生から、又各保育所でも語学体験という形で取り組んでみてはどうか。

答 駒津住民福祉課長 県下で私立保育所一カ所だけ取り組んでいる所がある。週一回三十分程度で歌遊びをしながら英語に親しんでいる。

答 平山教育長 いろいろな問題もあるが保育所、住民福祉課と相談しながら、前向きに取り組んで行きたい。

保育所での語学教育に取り組んでみては？

重要であり前向きに取り組みたい!!

(川口町長)

問 日本の学校での英語教育については中学、高校、大学まで含めると十年間学んでいるにもかかわらず、会話となると充分その成果が生かされていないのが現状である。

それは本質が読み書き中心の教育に問題があったのではないかと思う。

▼ 生比奈保育所園児の様子



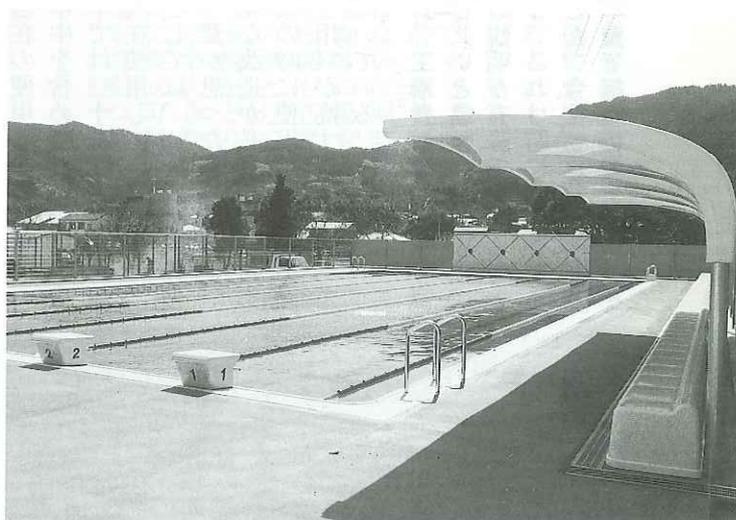
問 勝浦町的な保育所の語学教育として勝浦に外国から嫁いで来られている人にも協力してもらおう方法もあるのではないか。

答 平山教育長 勝浦に在住されている方から出来れば講師として御協力頂けるよう話し合ってみたい。

答 川口町長 幼児期の語学教育の必要性は充分認識しており教育委員会の取り組みにより経費面でも対応したい。

育として勝浦に外国から嫁いで来られている人にも協力してもらおう方法もあるのではないか。

▼ 町内業者によって建設された中学校プール



公共事業費削減と今後の問題点について

問 国、地方の累積債務四百四十四兆円の危機的財政状況の中、特に公共事業費七%カット、その他補助金一〇%、社会保障費削減等厳しい財政運営を迫られているが、公共事業費削減が勝浦に及ぼす影響をどの様に受け止めているのか。

答 松浦参事 公共事業については今後三年間で十五%削減、又公共事業の建設コストも一〇%削減、勝浦町で公共事業の大きな比重を

占める広域農道もUR関係で二年間延長し、平成十四年までになり特に業者数が多い勝浦では大変厳しい状況になると思う。

問 火電交付金による中学校プール、給食センターは町内業者によって完成を見たが、

その総括は？

答 桂木建設課長 プール工期が限られた中、専門業者に一部みもらった様ではあるが、給食センターとおおむね良かったと思っている。

問 今後の町発注工事の考え方については？

答 川口町長 町内業者育成ということもあり、業者の能力を見きわめた上で出来るだけ町内業者に発注するようにしたい。

川口町政

三年七カ月の歩みを問う

井出幸夫 議員



提案はどうかだったか。

答 川口町長 検討するよう指示しているが、まだ発表する段階ではない。

職員への信頼は？

なければ成り立たない
(川口町長)

問 職員の心を把握しやる気をもてる職場を作ることは、行政担当能力の重要な一面だ。町長は、職員を信頼しているか、職員から信頼されていると思うか。

答 川口町長 私は職員を信頼しているが、信頼されているかどうかはよく分からない。

問 言葉では職員を信頼しているというが、本当に信頼しているのか。

答 川口町長 職員を信頼しなくて町政は成り立たないと理解している。やる気を起こさせていくような教育も必要でないかと思ってい

問 町長は、「行政には裏表がある」と発言し新聞報道されたことがあるが、ガラスばりの町政は実際にはできないというのであれば、政治信条からきっぱり削ったかどうか。

答 川口町長 清潔、ガラスばりという信条は続けていきたい。
土木行政の改善として、指名審査委員会設置の

る。人徳をもって行政をしていきたい。

同和行政

主体性が弱いのでは？

そんなところも…
(川口町長)

問 同和団体助成金問題など同和行政に対する町長の姿勢を見ると、極めて主体性が弱いのではないか。

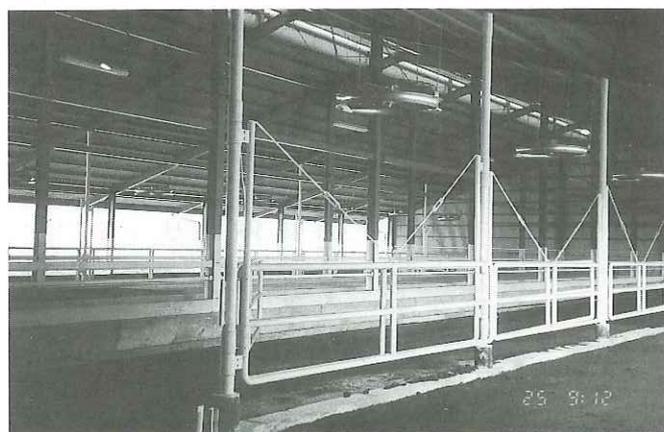
答 川口町長 そんなところも多々あったかと思うが、今後、町民の声を聞いて行政をしなければならぬと思っている。

畜産公害解決のメドは？

立っていない
(川口町長)

問 畜産団地の経営者から見れば、カラの畜舎の分までも使用料を負担しており、一方、生名地区からは畜産公害に関する陳情書が提出されている。

答 畜産団地の経営者から見れば、カラの畜舎の分までも使用料を負担しており、一方、生名地区からは畜産公害に関する陳情書が提出されている。



▲ まだ入植者が決まっていない畜産団地の100頭牛舎

どのように処理するつもりか。

答 川口町長 (当事者との話し合いにおいて) 私の発言の中で町長として言うてはならないことを言ったということは認めたいと思う。今後、解決に向けてがんばりたい。

問 自らの政治責任は、はっきり受けとめるべきだ。ずるずると引つ張るわけには行かない。解決のメドは？

答 川口町長 まだ解決のメドは立っていない。

県単採用教員を

要求せよ

要請する
(川口町長)

問 坂本小学校で教頭が学級担任をしたことによる影響は？

答 徳島県は、県単教員を全く採用していない。所見は？

問 平山教育長 一学期の間、教頭が学級担任をしたが、教頭職としてはかなり影響があった。九月から、町単教員を採用している。県が文部省の定員通りの教員しか置いていないことがネックになっている。県単採用の教員を置いて欲しいと早くから要望している。

問 過疎地域の切り捨てでないか。町長からも県単教員の採用を県に要求せよ。

答 川口町長 県に要請したい。



九月三日を勝浦町防災の日に

西浜勝己 議員



ジェーン台風で大きな被害をこうむった勝浦町、早くも四十七年が経過した。過去の大被害の教訓を風化させてはいけない。防災意識の高揚を期すため勝浦町防災の日を「九月三日」と制定してはどうか？

答 桂木建設課長 必要であり制定に賛成。

答 松浦総務課長 町民及び関係団体、特に消防団の理解と、現在制定されている日との調整必要。

答 川口町長 制定にむけて前向きに一生懸命取り組む。

問 災害は忘れたころにやってくると言われている。昭和二十五年九月三日の



▲ ジェーン台風以前の棚野の風景



▼ 現在の棚野の風景

畜産団地の公害をなくせ!!

問 畜産公害で口立川地区は大変迷惑している。原因は判明したのか。立川地区との覚え書きを守ってもらわなければ困る。

答 岡本産業課長 業者を呼び原因究明に懸命の努力中だが、今しばらく時間をかけてほしい。

問 山紫水明の里に、公害のまきちらしの状態だ。一刻も早く行政の責任で解決をせよ。

答 岡本産業課長 大変迷惑をかけている住民に、連絡をとりながら説明中です。

法改正とダイオキシンの対策に万全を期せ

問 クリーンセンターのダイオキシン調査は燃焼開始時や停止時の発生が最も調査の実体を知る上で重要だ。それが出来ていない、今後の対応策は？

答 国清環境衛生課長 ダイオキシン調査について言われている時間帯の調査方法は可能だからそのように取り組みたい。

岸取合道路工事費二千五百円、総事業費四万七千五百円の横瀬橋、いよいよ来夏装いも新たに完成だが、棚野側周辺整備事業について、県は地元意見の不一致を理由に地元協議に入らない懸念がある。県の見解をどう受けとめているか？

答 松浦参事 県の原案では地元の反対が多い。地元の一〇〇%同意があれば県道南側に修正も可能の見解だが、今議会終了後速やかに県協議に入りたい。

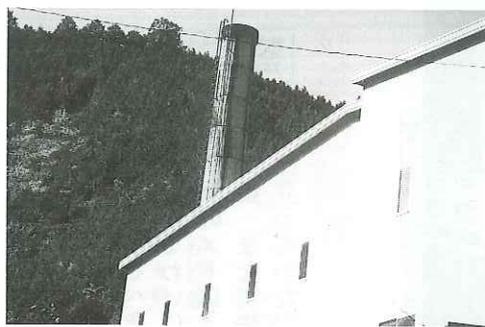
明石海峡大橋 全通と勝浦町

問 来春四月五日開通で県下各町村とも本土との直結を目玉に諸事業に取り組み中だが、勝浦町も他町村に遅れてはならない。基本計画を問う。

答 川口町長 県にも新長期計画があり、かつてない人的交流が予想される。道路網の整備、生鮮食料品基地の提供や観光対策、三市に隣接した好条件を生かすよう、議員の皆さんとよく協議を行いながら諸施策に取り組むたい。

横瀬橋周辺対策 棚野側の対応策を急げ

問 昭和四年八月二十三日 工事費四万五千円、両



▲ 立川のクリーンセンター

畜産団地の適正化と

責任処理について

中西晴美 議員



畜産団地の事業計画、 予算審議の推移と 議決事項と現状を 対照して町政の 責任と処理について

問

畜産団地は桜木町長の
とき堆肥製造施設約一
億八千万円程度であったが、
川口町政になって牛豚飼育で
産業建設常任委員会でも毎回委
員会開催毎に一億円増加し、
最終は十億円を超過した。当
初、議員は十億円を超えるな

ど夢にも思っていないかった。

畜産団地概要では肥育牛七
三〇頭（六戸）酪牛一五〇頭
（三戸）豚二千頭（一戸）で
あったが九年三月の会計検査
院検査では牛三八二頭（四戸）
豚一、三〇〇頭（一戸）牛堆
肥二、八〇〇トンであった。

なお、申請時は肥育牛六五
〇頭（六戸）豚二、〇〇〇頭
（二戸）堆肥九、四九〇トン
でありこれとの稼働率は五十
％に過ぎない。

議会は町長提案を信用して
議決されたが私はこのうわつ
いた予算審議の状況から実現
性、財政投資の公平性から判
断して本会議で反対した。

結果は当初絶対間違いな
いと川口町長が保証した飼育者
は次々と脱落し実質上現在飼
育農家は牛三戸豚一戸と聞く。
十億円余の巨費を投じた事業
の稼働率が五十一％、公害対
策が不十分な現況をどのよう
に責任を感じているか。

答

早川助役 畜産問題は
本会議等で審議され、
努力した経過がある。計画段
階での事業が完了していない

点責任を感じ努力する。

答 川口町長 慎重に審議
を重ねていく間でもど
ん経費的にも事業的にも増
えていった。それでもご理解
を得ながらやってきた。けれ
ど入植者の問題でうまくいっ
ておりません。難しい点、先
頭に立って頑張りたい。

平成八年度決算審査の
監査委員意見書につき、
おおむね達成とあるが、最少
の経費で最大の効果をあげる
という点での所見を問う。

問

豊田監査委員 最少の
経費で最大の効果をあ
げるべきだ。十億円が最少か
否か、畜産施設の専門的知識
を持っていない。提出された
数字を審査しおおむね適正だ
としたので、ご理解頂きたい。

答

過疎債十億円を少数の
牛豚だけの飼育者に投
じたため他の希望する事業が
ここ三〜四年出来ていない。
そのため一般財源が枯渇し町
財政は著しく弾力性を失いこ
れが影響して特に基幹産業で
あるみかん産業振興対策への
投資がほとんどできていない。
どうするのか？

問

早川助役 過疎債の配
分については、一般的
な額に先んじて配分され、大
きな他の事業への影響はなかつ
た。

答

川口町長 みかん産業
について、九年度は必
要経費を当初予算に上げてい
る。また、必要とあれば補正
を検討していく。

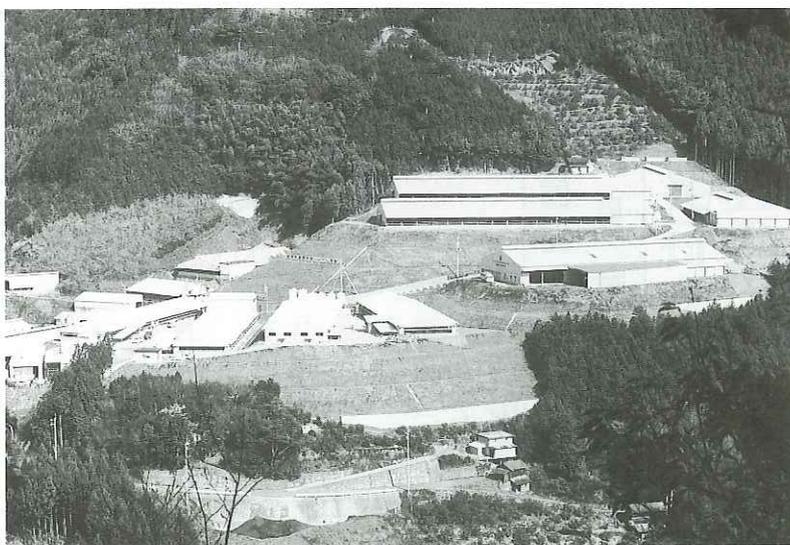
答

てどの程度達成されたか、今
後どうするのか。
答 川口町長 前向きにガ
ラス張りに一生懸命やつ
てきた。みんなの意見を慎重
に聞きながら勇気をもってやっ
ていきたい。

町長の政治 姿勢について

問

前回の町長選でのスロ
ーガン政治信条につい



▲ 畜産団地の全景

議会各委員会委員構成

(平成9年9月4日現在)

すべての気持ちをひとつにして勝浦を創る

町議会は、町長あるいは議員から提出された条例、予算などを審議し、町政のありかたなどを決定する議決機関です。議員定数は十六名で、年四回（三月、六月、九月、十二月）の定例会と必要に応じて開かれる臨時議会があります。¹²

行政は細分化しているため、専門的に調査や審議する機関として、総務、厚生、産業建設の三つの常任委員会と、議会の運営を協議するための議会運営委員会があり、また町政の重要課題に応じた東部広域農道整備促進、勝浦川整備促進、議会広報調査の特別委員会があります。

厚生常任委員会

○◎ 滝口良一
◎ 森原忍
○ 神原昭三
○ 原田義雄

総務常任委員会

○◎ 山田昌男
◎ 国清栄治
○ 森広敏太郎
○ 末広正太郎
○ 西浜勝己

議長 押栗義雄
副議長 森健

議会運営委員会

○◎ 山西勝己
◎ 山田昌男
○ 国清栄
○ 森原忍
○ 神原晴美

○◎ 宮本久治
◎ 福徳重昭
○ 溝田義一
○ 笹田源夫
○ 井出幸夫
○ 中西晴美

産業建設常任委員会

議会広報調査特別委員会

○◎ 山西勝己
◎ 神原忍
○ 国清栄
○ 溝田義昭
○ 滝口良一

○◎ 中西晴美
◎ 押栗義雄
○ 溝田義昭
○ 森原敏治
○ 神原忍
○ 末広正太郎
○ 西浜勝己

東部広域農道整備促進特別委員会

勝浦川整備促進特別委員会

○◎ 山西勝己
◎ 井出幸夫
○ 国清栄
○ 福徳重二
○ 森本健
○ 宮本久治
○ 原田昭三
○ 中西晴美

(◎ 委員長)
(○ 副委員長)



議員 源一 節



議員 末広正太郎



議員 滝口良一

私たちも
頑張っています



厚生常任委員会先進地視察

●平成九年八月二十六日
群馬県富士見村を視察（群馬県赤城山の麓）

●平成九年八月二十五日
茨城県猿島郡環境管理事務組合

すべてのゴミを一カ所処理!!

町長「住民要望を先取り」



設立に先立ち地域住民を先進地へ案内し理解と納得を得ることに努力。焼却熱利用温水プール、風呂等完備のコミュニティセンター、休養施設や夜間照明つきグラウンド等があり、周辺対策も万全をつくしている。

本工事に先立ち、道路排水、防犯灯、などの整備をはかり地域住民と、より良い関係がもてたのが、後々までも好影響。

現地は、広々とした水田の中の松林の小高い丘にあり、し尿処理施設、



ごみ焼却施設粗大ゴミ処理施設、最終埋立処分場、火葬場（ベットも可）斎場、と前述の施設である。

年間予算は、十八〜二十億円、六十五名の従業員は、地元泉町の職員と同等の公務員である。また、従業員には各種の資格、免許を取らせ仕事に生かしている。

（例：温泉プール従業員は、水泳指導員）

「むら」といっても人口は二万人を越える。しかも、前橋市からの移住で増加傾向にある。しからは何故「村」なのか、村長答えていわく「村というほうが、訪れてみたくなるような、住んでみたくなるような、響きを感じられる」わが町は、七千でも町。

何か感じられようか。ゴミ問題については、二十

年前から苦慮していたが、平成七年から八年にかけ他の一町三村で焼却施設を造り、本年四月から稼働している。

粗大ゴミ処理場は、今建設中である。

設置場所は、三十回あまりの説明会を開いた後共有林を買収した。

工事は各町村平等割として地元に対しては迷惑料的なものとして道路整備等として二億円を投入、このほか地元三地区に集会所を建設、さらに地元運営費として毎年二百五十万円を出している。

以上、二カ所の視察を行ってきたがまとめてみると、

一 視察したような施設は、いくつかの市町村が広域的に取り組むべきである。

二 「汚いもの」というイメージを持たせないため、公園やテニスコート、グラウンドを併設し、住民交流の場とする。

三 付近関係住民の声は、可能な限りとりいれる。

四 良好な環境を保つためには、最も進んだ方式を採用し、事業費に合わせた施設ではないけない。

五 事業推進自治体は、計画を詳しく発表し、積極的に説明会を開く。

六 施設計画を示された地域の付近住民も、公共の福祉ということを理解し協力もする。



よりよい紙面づくりを求めて

編集委員長 西浜勝己



今、地方の時代が叫ばれています。それに今年には地方自治法施行五十周年という記念すべき節目でもあります。二十一世紀を目前に控えて、町民のみなさんに議会の動き、あゆみ等できるだけ、わかりやすくお伝えし、親しんでいただくために今回「議会だよりかつうら」を発行することになりました。現在町村議会

広報は全国で一七〇〇余りの町村で発行され、全体の六十八%です。そのうち議員だけで編集するのは約二十五%の町村です。勝浦町議会と致しまして、全員協議会で幾度となく話し合いをつづけて参りました。その結果全員一致で発行に踏み切ることになり、私たち五名が編集委員に選任され、身のひきしまる思いです。

ゼロからの出発であり、まさしく「手さぐりの航海」です。一般質問は各議員の原稿を基に、会議録（議事録）で正確にチェックすることに心

議会広報編集委員



国清 栄 溝田義昭
神原 忍 西浜勝己 滝口良一

掛けてゆきますが、質問、答弁ともに数千文字、場合によっては数万文字の中から、その要旨を正しく、公平に掲載しなければなりません。それだけに編集委員全員はりきって

任期いっぱい頑張る所存でございます。よりよい紙面づくりに町民みなさんのお力をおかし下しますようお願い申し上げます。挨拶と致します。

編集後記



みかんもすっかり色づき、勝浦にとって最も活気のある季節に「議会だよりかつうら」を、私たち議員の手によって発刊することとなりました。初めての取り組みであり、一般質問の原稿は質問者の執筆で、それぞれの個性が強く出て編集にはいろいろの苦労もありました。

皆様に御満足頂ける出来ばえとは思いませんが、私たち編集委員も今後研鑽を重ね、愛され親しまれる紙面づくりに努力いたします。

今後町民皆様の、御指導、御意見等頂ければ幸いと存じます。

議会のうごき

7 月

- 2日 6月定例議会、全員協議会
- 7日 6月定例議会閉会
全員協議会
総務常任委員会
厚生常任委員会
産業建設常任委員会
- 28日 全員協議会

8 月

- 4日 議会広報調査特別委員会
- 5～7日 総務常任委員会県外視察研修
- 8日 全員協議会
- 19～21日 産業建設常任委員会県外視察研修
- 20日 厚生常任委員会
- 25～27日 厚生常任委員会県外視察研修
- 29日 徳島県町村議会議員研修会

9 月

- 1日 議会広報調査特別委員会
- 3日 議会運営委員会
厚生常任委員会
- 4日 産業建設常任委員会
総務常任委員会
- 9日 9月定例議会開会
- 12日 全員協議会
- 16～19日 9月定例議会、一般質問
- 22日 9月定例議会、議案審議採決、閉会

10 月

- 3日 総務常任委員会
- 6日 総務常任委員会
- 7日 第三回臨時議会、生比奈保育所改築工事請負契約審議、採決
総務常任委員会
産業建設常任委員会
- 8日 総務常任委員会
- 16日 総務常任委員会
- 17日 議会広報調査特別委員会
- 21日 厚生常任委員会、全員協議会
- 24日 議会広報調査特別委員会
- 29～30日 議会広報調査特別委員会